様式第１号

令和４年度　学校経営計画書

学校番号	15	学 校 名	静岡県立御殿場南高等学校	校 長 名	高橋　健二

１　目指す学校像　「こころざしを育む学校」

(1) 教育目標（知力、精神力、体力に優れたリーダーの育成）

建学の精神「鍾駿」は、「地域に貢献する優れた人材を集め育成する」という理念である。
校訓「心は広く豊かに　志は高く大きく　日々の努力を惜しまない」は、社会の多様性を尊重し、地域に貢献し、地域の人を思いやるリーダーとなるべき人材に必要不可欠な精神である。
南高生としての「誇り」と高い「こころざし」を持ち、日々の学習や部活動等に主体的に取り組むことで知力・精神力・体力を向上させ、自ら達成感を得るとともに、他者との協働を尊ぶ人間性豊かな生徒を育成する。

(2) 目標具現化の柱

キャリア教育（C プロジェクト）を通して、学ぶことの意味を意識させ、マネジメントサイクルを踏まえた教職員の協働実践により、学び続ける力の定着を図る。

ア　学校生活の様々な場面で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性等」の育成を意識し、全体での目標共有と各自の振り返りを繰り返し行うことで、自己が向上する喜びを知ると同時に、全体としての成長を体感できるような指導を工夫する。

イ　教育活動全体を通じて「大学進学後の社会」を意識させ、学習や進路に対する主体的な意欲・意識を向上させる。

ウ　「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭に、主体性と言語活動を重視した授業づくりと「高校生のための学びの基礎診断」等による定着度の確認・分析を行い、地域の期待に応える実績の向上を目指す。

エ　品格ある自律した生活態度と自制心を育成し、社会のモラルとマナーを意識させる。また、健康や安全、防災についての意識を高める。

オ　特別活動や地域との係わり合いを持った体験活動など多様な活動を通じて、社会の中での自己を見つめ、「こころざし」と自己肯定感の育成を図る。

カ　探究学習の実践及び 60 周年記念事業の実施等を通し、地域社会と連携・協働する学校づくりを一層推進させる。

キ　業務改善を図りながら教職員の意欲と組織力を向上させ、明るく活力ある学校づくりを推進する。

２　本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標（生徒の割合）	担当部署
ア	学校生活の様々な場面で、全体での目標共有と各自の振り返りを繰り返し行うことで、自己が向上する喜びを知ると同時に、全体としての成長を体感できるような指導を工夫する。	･授業、部活動、生徒会活動など、高校生活の中で達成感を味わい、「主体的」に活動する場面を設定する。 ･学校生活の様々な場面で、集団としての目標を設定し、協働して取り組む姿勢を育む。 ･学習や活動の成果をポートフォリオに記録し、活用する。	･南高に入学して充実した高校生活を送っている　90% ･自ら率先して行事･活動に取り組み、他者と目標を共有し、支援できる。　80% ･県・東海・全国大会への出場	全体
イ	**教育活動全体を通じて「大学進学後の社会」を意識させ、学習や進路に対する主体的な意欲・意識を向上させる。**	･ＳＤＧｓに関する探究学習の充実を図る。 ･職業研究、大学研究を実施し、進路の多様性と学びの必要性を意識させる。 ･探究学習、キャリア表明書の指導を通じて、深い学びと学び続ける力を身につけさせる。	･将来の進路に基づき、今行うことを考えて、進路に向けて積極的に行動できる。　85% ･自ら課題を設定し、情報を収集・分析しながら、探究する態度が身についている。　80%	進路 教務 学年

様式第１号

ウ	**「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭に、主体性と言語活動を重視した授業づくりと「高校生のための学びの基礎診断」等による定着度の確認・分析を行い、地域の期待に応える実績の向上を目指す。**	・「思考力・判断力・表現力」養成を重視する授業改善と学習評価を実践し、定着を図る。 ・AL 型授業または ICT 活用授業を各単元に１回以上実施 ・「高校生のための学びの基礎診断」等を活用し、教科毎のヒアリングを年２回実施 ・新学習指導要領に対応した評価の実践。 ・授業参観、年３回以上 ・疑問や課題を放置せず、自学自習力を向上し、家庭学習時間を確保する。	・学習の基礎・基本が定着し、基盤となる資質・能力が身についている。　90% ・全国水準を上回る学力を身につける。 ・国公立大学現役合格者数 40 名以上 ・苦手や困難に直面しても、最後まで取り組み続けることができる。　80% ・家庭学習時間１日平均２時間以上 ・教科学習における ICT 機器の効果的活用	研修 教務 進路 学年
エ	品格ある自律した生活態度と自制心を育成し、社会のモラルとマナーを意識させる。	・容儀の端正化を図るため、日常的に声かけし、生徒会活動、初期指導を連動させる。 ・ルールの理由と違反の周囲への影響を理解させ、他者への思いやりと人権を意識する。 ・いじめ防止の組織的な対応 ・スマホの使用（SNS、ゲーム、動画視聴等）に対する自制心の育成	・校則やルールを理解し、自分で遵守するだけでなく、他人にも啓発にできる。　90% ・時間的自己管理ができ、けじめある生活を送り、生活リズムができている。　80% ・部活動後の速やかな下校、完全下校時間の厳守 ・スマホ使用時間調査等による自己管理力の育成	生徒 学年 全体
	健康教育、交通安全教育を推進する。 防災教育を実施する。	・健康、安全啓発とともに、災害を想定し、非常時に対応できる体制づくりをする。 ・重大な交通事故ゼロ ・生徒が相談しやすい体制	・健康や体力の向上に努め、健やかな心身を意識して自己を管理している。　90% ・生活や交通安全、災害に、配慮して活動できる。　90%	生徒 総務 教頭
オ	**特別活動や地域との係わり合いを持った体験活動など多様な活動を通じて、社会の中での自己を見つめ、「こころざし」と自己肯定感の育成を図る。**	・地域人材を積極的に活用し、体験活動やボランティア活動の連携を図る。 ・授業、鍾駿ゼミ、修学旅行等、で主体性、協働性を育む。	・自らの意見を述べ、他人の意見と調整し、自分の意見を発展させることができる。80% ・1 部活動１ボランティア（地域交流活動）	進路 学年 教務
		・図書館広報を充実し、朝読書を推進する。年間利用者延べ 2000 人、貸出数 1200 冊 ・1・2 年で読書活動を実施	・文化・芸術に親しみ、教養を深め、精神的な充実感を求める姿勢がある。　85%	図書 学年
カ	探究学習の実践及び 60 周年記念事業の実施等を通し、地域社会と連携・協働する学校づくりを一層推進させる。	・御殿市役所、静岡大学等の外部機関と連携し探究学習を実践する。 ・60 周年記念事業を契機に、同窓会など外郭団体と連携し、より積極的な広報に取り組む。	・家庭、地域との繋がりを理解し、他者と連携して社会に尽くしていこうとする。　85%	副校長 総務 学年
キ	業務改善を図りながら教職員の意欲と組織力を向上させ、明るく活力ある学校づくりを推進する。	・公共心を涵養する。 ・施設、設備の状況を定期的に点検し、予算を有効に執行	・公共物や施設、環境に気を配り、清掃・整理など積極的に環境を整える。　95% ・定期点検月１回、　随時点検	総務 事務
		・外部人材の活用体制の構築 ・業務ファイルの整備 ・会議、分掌業務の見直し ・不祥事根絶研修の実施	・補習、部活動における外部人材の活用 ・分掌・学年部の業務ファイルの作成を進め、引継を円滑化	管理職 運営 委員